

サンタ・クリツァー・ラーザー
ニャーネーシュワラ・マハーラージによるアバンガ

繰り返し

グルは聖人たちの一族の王である。

第1節

グルは聖人たちの一族の王であり、
グルの中に、私の生命力は休息を見いだす。

三界すべての中に、
グルをおいて他に神はいない。

第2節

グルは喜びの大海である。
グルは恩恵の住む所である。
グルは決して揺らぐことのない勇気の山である。

第3節

グルは探究者に根気よく助けを与える。

グルは信奉者にとって母である。

グルは願いをかなえる牛であり、
彼を信奉する者に恩恵のミルクを与える。

第4節

グルは探究者に知識の目薬を施す。

グルは探究者自身の大いなる自己の内側に隠された宝物を明らかにする。

多幸を授けることによって、

グルは探究者を英知の中に確立させる。

第5節

グルの言葉によって、肉体はカーシーになる。

彼は私たちに輪廻(りんね)の大海原を渡るマントラを与えた。

ニャーネーシュワラ・マハーラージは言う。

「私のマインドは瞑想の中にある」



ニヤーネーシュワラ・マハーラージについて

ニヤーネーシュワラ・マハーラージ(1275 年～1296 年頃)は、インドのマハーラーシュトラ州出身の詩聖です。彼は、世界の卓越した精神性の著作の中で広く認められている、『ニヤーネーシュワリー』と題された『シュリー・バガヴァッド・ギーター』の解説書、そして神と融合した体験についての問答である、『アムリタヌバーヴァ』を著しました。ニヤーネーシュワラ・マハーラージは、精妙な真理を簡単で詩的な言語で伝えることで世に知られていました。彼は当時、多くのインドの神聖な論説がサンスクリット語で書かれていたのに対し、その土地の言葉であるマラティ語で書き、そして彼の個人的な体験の視点を通して教典を説明しました。